

標本ラベル

ふじのくに地球環境ミュージアム 准教授

早川 宗志

本連載テーマである「標本は語る」。標本は雄弁に事実を物語ってくれますが、実際に言葉を話してくれるわけではありません。そのため、標本が語ることを読み取り、理解し、解釈へと結びつけていく過程が必要となります。本稿では、その過程で必須となる「標本ラベル」についてご紹介いたします。

さく葉標本を調査する際、植物体の花や葉の形と大きさに注目されることが多いと思います。しかし、見過ごされがちなポイントに、さく葉標本の右下に必ず貼られている「標本ラベル」があります（図-1）。この標本ラベルには学術的に重要な情報が記録されており、標本ラベルが貼られていない標本は「学術的な価値が無い」といって過言ではありません。

それほどまでに標本ラベルに書かれている情報は重要です。そして、標本ラベルの情報を標本自体の花や葉の形と大きさなどと組み合わせて調べることで新事実が判明することや、その標本の来歴を知ることができます。

標本ラベルの3大必須項目

さく葉標本の標本ラベルには様々な情報が書き込まれています。その中でも最も大切な項目が、「採集日」「採集地」「採集者」の3つです。つまり、「いつ」「どこで」「誰が」採った標本であるのかが最も重要な項目です。これらの3項目は採集者本人しか知りえない情報であるため、後日に他者が記入することができないからです。一見大切そうに思える種名や学名は、標本作成時の最重要項目ではありません。なぜなら、後日に他者が標本から植物種名を明らかにすることが可能であり、分類学的な研究の進展により、学名が変わることもありえるからです。

多様な標本ラベルの情報

さく葉標本の標本ラベルには、最も重要な3項目の他にも「種名（和名）」「学名」「同定者名」「同定日」「生育地の



図-1 さく葉標本（山崎俊哉 1693, OSA）の標本ラベルとアノテーションスリップ

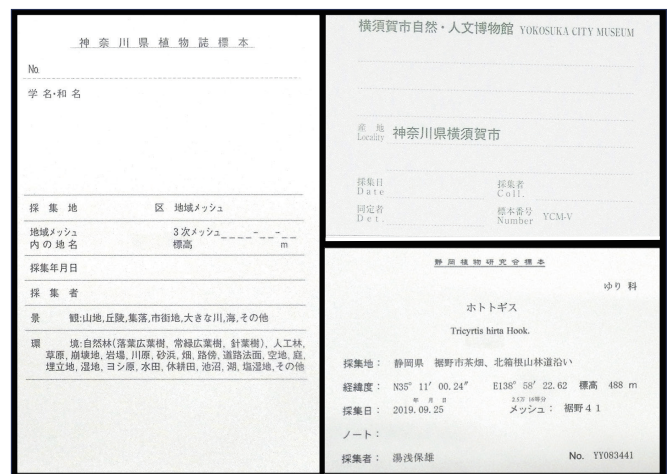


図-2 各植物収蔵庫におけるさく葉標本の標本ラベル。左:KPM, 右上: YCM, 右下: ふじのくに地球環境史ミュージアム。

Makino Herbarium Det.: Date for det.:	THE SHINSU UNIVERSITY HERBARIUM (SHIN) Det.:
The Makino Botanical Garden (MBK) Det.: Hiroshi Hayakawa Date: October 2023	Saitama Museum of Natural History (SMNH) Det. Date: / /
Herbarium Mie Prefectural Museum (MIE) Det. Date	Herbarium Universitatis Tokyoensis (TI) Det. Date
Ibaraki Nature Museum Det.: Date for det.:	National Museum of Nature and Science (TNS) Det. Date: / /
Osaka Museum of Natural History (OSA) Date Det.	No. 栃木県立博物館 F. (Tochigi Prefectural Museum) Det.
	横須賀市自然博物館 Yokosuka City Museum 同定者 Det.: 同定年月日 Date for det.:

図-3 各植物収蔵庫におけるさく葉標本のアノテーションスリップ。左列の上から順に、MAK, MBK, MIE, INM, OSA。右列の上から順に、SHIN, SMNH, TI, TNS, TOCH, YCM。

環境」「標高」「特記事項」など様々な情報が記載されています。最近では、より詳細な情報を示すために「緯度・経度 (GPS 情報)」を記載することもあります。そのため、標本ラベルにどの項目を記載するかという点において、各博物館の特色が現れています (図-2)。

アノテーションスリップ

生物の種名を明らかにすることを同定といいます。未同定 (種名が不明) であった標本の種名が明らかになった場合、誤同定 (標本ラベルの種名が別種の間違い) であることが判明した場合、最新の分類体系を反映した新しい学名が提唱された場合などには、標本の学名を変更します。その場合、専用のアノテーションスリップ (同定ラベル) に「学名」「和名」「同定者」「同定年月日」を記述します (図-3)。

標本ラベルの隣にアノテーションスリップが貼られていくことで、最新の学術的な知見を反映させることができます (図-4, 次頁)。このようにして何十万点もの所蔵標本を再同定することで博物館の標本収蔵庫は学術的な機能と質が維持され、標本を用いた調査研究が一步一步進んでいきます。

標本ラベルから明らかになる事実

北アメリカ原産の寄生植物であるアメリカネナシカズラの日本への帰化が認知され始めたのは 1970 年代でした。しかし、収蔵庫に所蔵されるさく葉標本の再同定から明らかに

なった事実は、1930 年代後半には既にアメリカネナシカズラが日本に帰化していたということでした (秋山 2003; 藤井 2018)。

また、水田雑草アメリカキカシグサは四国には未定着とされていました。しかし、徳島県産の“ホソバヒメミソハギ”標本の再同定を行ったところ、この標本は“アメリカキカシグサ”の誤同定であったことから四国への新帰化を示すことが明らかとなりました (早川・藤井 2022)。

このように初帰化年代や分布記録を明らかにする上でも、標本ラベルに記載された採集情報は非常に重要です。標本ラベルは、その標本がもつ学術的な価値を記録・担保するという重要な役目を持ちます。その結果として、標本ラベルから個々の標本が持つ隠されたストーリーが明らかになることもあります。また、昆虫標本 (図-5, 次頁)、魚類などの液浸標本、地質・化石標本では、標本ラベルの書き方やルールが違うこともあります。標本調査の際は、標本ラベルにも着目することで標本が語る言葉をより深く理解できることでしょう。

謝 辞

標本ラベルを提供いただいた各機関とキュレータに感謝します：千葉県立中央博物館 (CBM)、ミュージアムパーク茨城県自然博物館 (INM)、神奈川県立生命の星・地球博物館 (KPM)、大阪市立自然史博物館 (OSA)、東京大学総合研究博物館 (TI)、東京都立大学牧野標本館 (MAK)、高知県立牧野植物園 (MBK)、三重県総合博物館 (MIE)、信州大学自然科学館 (SHIN)、埼玉県立自然の博物館 (SMNH)、栃木県立博物館 (TOCH)、国立科学博物館植物研究部 (TNS)、横須賀市自然・人文博物館 (YCM)、NPO 法人静岡県自然史博物館ネットワーク。

参考文献

- 秋山幸也 2003. ハマネナシカズラの蒴果は花冠から裸出しない. 神奈川県植物誌調査会ニュース 56, 703-705.
 早川宗志・藤井俊夫 2022. 水田雑草アメリカキカシグサ (ミソハギ科) の初帰化年の整理および四国・九州への新帰化. 雑草研究 67, 61-63.
 藤井伸二 2018. 寄主植物を用いたマメダオシ (ヒルガオ科) の生育環境の推定. 植物地理・分類研究 66, 177-184.



図-4 オリジナルラベル（右）と再同定後のアノテーションスリップ（左）



図-5 昆虫標本と標本ラベル

統計データから

飼料作物の作付（栽培）面積（令和5年産）

畜産経営コストに占める飼料費の割合は高く、粗飼料の給与が多い牛で4～5割、濃厚飼料中心の豚・鶏で6～7割を占める。令和4年度（概算）の飼料自給率（全体）は26%（TDNベース：カロリーに近い概念。家畜が消化できる養分の総量）と低い水準である。

そこで、農林水産省では、飼料自給率の令和12年度目標を34%に高めることを掲げている。このため、耕畜連携の推進や、外部組織による飼料生産の効率化、青刈りとうもろこし等の高栄養飼料作物の生産拡大、草地の生産性向上等により、国産飼料の生産・利用の拡大を進めることが重要としている。

畜産における飼料供給割合は、主に国産が占める粗飼料が20%で、輸入が占める濃厚飼料が80%の構成であるが、目標では粗飼料自給率は78%から100%へ、濃厚飼料自給率は13%から15%を目指している。

令和5年産飼料作物の作付（栽培）面積及び収穫量を、令和6年3月公表の作物統計調査から、都道府県別の作付面積上位を含めて表-1に示した。

牧草の作付（栽培）面積は705,200haで、前年産に比べ1%減少。近年、規模拡大等により草地管理にかかる時間が減少し、草地改良率の低下（草地更新・整備面積：1.6万ha、更新・整備率：3.0%）や、難防除雑草の対策が課題となっている。

青刈りとうもろこしの作付面積は97,200haで、前年産に比べ1%増加。栄養価が高く、濃厚飼料の低減にも寄与し、関東以西の暖地では二期作も可能なので、酪農経営には重要な飼料作物である。

ソルゴーの作付面積は11,700haで、前年産に比べ2%の減少である。（K. O）

表-1 令和5年産飼料作物の作付面積・収穫量

牧草			青刈りとうもろこし			ソルゴー		
都道府県	作付面積 ha	収穫量 t	都道府県	作付面積 ha	収穫量 t	都道府県	作付面積 ha	収穫量 t
全 国	705,200	23,951,000	全 国	97,200	4,939,000	全 国	11,700	488,900
北海道	522,300	16,975,000	北海道	60,400	3,316,000	宮 崎	2,200	114,200
岩 手	33,900	932,300	栃 木	5,280	266,600	長 崎	2,030	81,800
鹿児島	18,000	1,067,000	岩 手	4,820	192,800	鹿児島	1,240	62,700
青 森	17,600	468,200	宮 崎	4,480	203,800	大 分	676	33,900
宮 崎	15,300	884,300	熊 本	3,300	146,200	兵 庫	643	14,700
熊 本	13,500	553,500	茨 城	2,460	115,600	熊 本	618	32,500
宮 城	11,700	217,600	群 馬	2,420	118,800	千 葉	408	18,400
栃 木	7,740	301,900	福 島	1,530	63,000	茨 城	317	12,000